

はじめに

英語の4技能（listening, speaking, reading, writing）の中で、ライティングの力は習得に最も時間がかかり、習得するのが最も困難な技能であると言われます。また、日本の英語教育では、ライティング指導についての研究がまだ十分ではなく、効果的な指導法も確立されていない状況にあります。しかし、インターネットやEメールが日常的なツールとして世界中の多くの人々によって活用されるようになり、書くことを通して英語によるコミュニケーションを行うという機会が急速に増えてきました。本テキストは、このようなライティングによるコミュニケーションの必要性に配慮し、特に初級から中級の日本人英語学習者の「ライティングによる内容伝達力」を向上させることを目的として編集された英語ライティング用テキストです。

テキストは3つのセクションから構成されていて、セクション1（Basic Writing）では、パラグラフ単位での英文ライティングの基本となる1つ1つの文の書き方とプロセスにしたがって書き進めていく方法（Process writing approach）について学びます。本テキストの中心部分となるセクション2（Paragraph Writing）では、10タイプの多様な論理展開のパラグラフがそれぞれのユニットで1つずつ取り上げられていて、ライティングのプロセスに沿った簡潔な説明によってポイントを確認し、段階的にパラグラフ・ライティングの演習を行うことができる構成になっています。そして最後のセクション3（Essay Writing）では、パラグラフ単位のライティングを「エッセイ」のレベルに拡張するための具体的方法について学び、本テキストによるライティング学習の総仕上げとして、3～5パラグラフのエッセイを実際に書いてみるという課題に挑戦します。

本テキストによる英語のライティング学習が、皆さんの英語に対する関心を高め、ライティングによる内容伝達力の向上に役立つことを願っています。なお、本書の内容につきまして、思わぬ不備や誤りがあるかもしれません。お気づきの点をご教示くだされば幸いに存じます。

最後に、本書の編集に際して、テキスト試用段階における有益なフィードバックやコメントをしていただいた山梨県立大学看護学部の学生のみなさん、そして本書の企画・編集の段階から出版に至るまで、貴重なご助言とご尽力をいただきました(株)成美堂の松本健治氏に心より感謝申し上げます。

著 者

CONTENTS

Section 1 : Basic Writing

Unit 1	Pre-writing Activity 「英文ライティングの基本を学ぼう」	1
Unit 2	For Writing a Draft 「英文の作り方について学ぼう」	7
Unit 3	Revising & Editing 「修正・訂正の基本を学ぼう」	13

Section 2 : Paragraph Writing

Unit 4	Family and Friends 「家族や友達について書こう」(記述)	19
Unit 5	My Hometown 「自分の故郷について書こう」(例示)	25
Unit 6	Last Weekend 「週末について書こう」(時間的順序)	31
Unit 7	Music and Sports 「音楽やスポーツについて書こう」(分類)	37
Unit 8	Japan and the UK 「日本とイギリスについて書こう」(比較)	43
Unit 9	University Life 「日本とアメリカの大学生活について書こう」(対照)	49
Unit10	What is Love? 「愛することの定義を書こう」(定義)	55
Unit11	Later Marriages 「晩婚傾向について書こう」(原因・結果)	61
Unit12	Part-time Jobs 「アルバイトについて書こう」(意見)	67
Unit13	Ways to Keep Healthy 「健康について書こう」(問題解決)	73

Section 3 : Essay Writing

Unit14	Basics of Essay Writing 「エッセイ・ライティングの基本」	79
Unit15	Writing Your Essay 「エッセイを書いてみよう」	85

[資料]	エッセイの基本構成	96
------	-----------	----

[付録] 清書用紙 (Unit 4~13) ※キリトリ線あり

Section 1 : Basic Writing

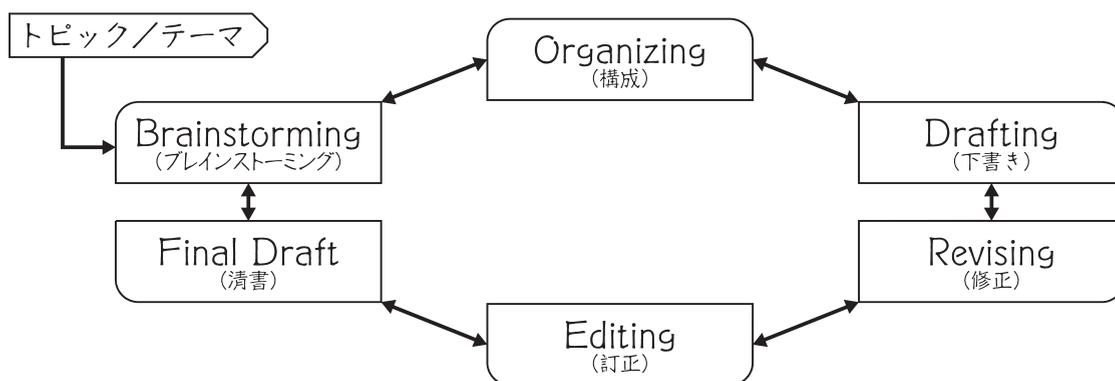
Unit 1 Pre-writing Activity

「英文ライティングの基本を学ぼう」

Section 1 Basic Writingでは、パラグラフ単位での英文ライティングの基本となるライティングのプロセスにしたがって書き進めていく方法 (Process writing approach) について学びます。**Unit 1**では、実際に英語の文章を書き始める前に行う活動 (Pre-writing activity) について学習します。

Writing Process

日本語や英語で文章を書き進めていく時、作家のようなプロの書き手は、一語一語あるいは一文一文、その都度完璧なものを書いて作品を仕上げていくと思っている人がたくさんいると思います。しかし、たとえ熟練した書き手 (experienced writer) と呼ばれる人たちであっても、最初から完全な文章を次から次へと書くことは至難の業なのです。実は、そのような人たちの場合は、文章を書くこと (essay writing) は「過程 (process)」であるということを知っていて、作品を仕上げるまでの各プロセスでどのようなライティングの技法を使うべきかをよく知っているため、仕上がりとして完成度の高い作品を書くことができるということなのです。このライティングのプロセスの概要を表すと以下のチャートのようにになります。



このチャートを見ても明らかなように、ライティングのプロセスとは、ブレインストーミングから清書までが直線的 (linear) な過程ではなく、それぞれのライティングのステージを行ったり来たりすることが可能な「巡回的 (recursive)」なプロセスなのです。つまり、行ったり来たり繰り返すことによって、徐々に文章として練り上げていくのです。もし、私たちとプロと呼ばれる書き手との違いがあるとすれば、この繰り返しの頻度の違いということになるでしょう。それでは、ライティング・プロセスの各段階では具体的にどのような活動を行うのかを具体的に見ていきましょう。

Pre-writing Activity : Brainstorming & Organizing

ライティングの事前活動の具体的な内容について学習します。

STEP 1 ▶ ブレインストーミング (brainstorming) をしてみましょう。

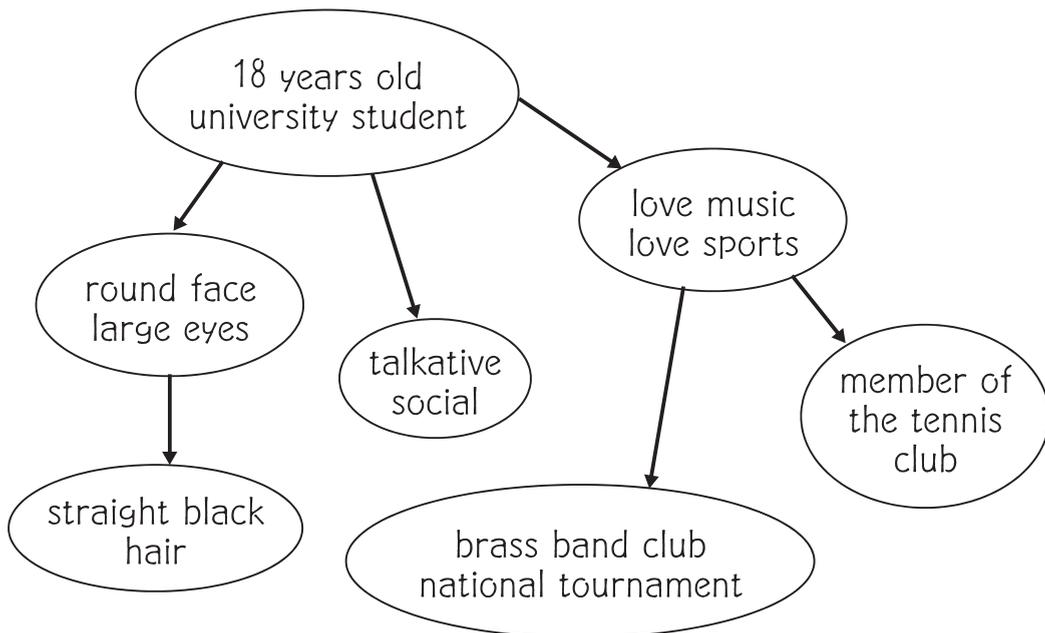
❖ ポイント解説 ❖

「ブレインストーミング」とは、書こうとするトピックについて頭に浮かんだ考え (idea) をすべて書き出す活動です。書きとめる言葉は、英語でも日本語でもかまいません。無理に文レベルにする必要はなく、単語やフレーズを使って、思いついたことを1つでも多く書き留めるようにします。

[ブレインストーミング例1 : リスト型]

- 身体的特徴 : round face, straight and black hair, large eyes, average height
- 性格 : talkative, friendly, shy, sociable, sensitive
- プロフィール : 18 years old, university student, have two brothers, love sports
- 特記事項 : very homesick, love pizza, brass band club, get in national tournaments

[ブレインストーミング例2 : クラスター型]



For Example...

「自己紹介 (self-introduction)」の内容についてのブレインストーミングの手順〔例〕

1. 自己紹介というトピックに対して頭に浮かんだアイデアをすべて書き出します。
2. 書き出したアイデアを見返して、不要なものや同じようなものは削除したり1つにまとめるようにします。
3. 最終的に残ったアイデアについては、ブレインストーミング例1のようにそれぞれの類似点・共通点などについて考え、カテゴリーを設定して分類したり、例2のように関連するアイデアを線で結び、いくつかのグループに整理するようにします。この段階で新たなアイデアが浮かんだら付け加え、必要がないと思われるものがあれば削除して構いません。

Exercise 1 「自分自身のこと」について、例1（リスト型）または例2（クラスター型）にならって、ブレインストーミングをしてみましょう。



STEP 3 ▶ 自己紹介文のアウトライン (outline) を考えてみましょう。

❖ ポイント解説 ❖

「アウトライン」では、STEP 2 で考えた主題文の内容を読む人に理解しやすく展開するために、自己紹介の内容として思いついたさまざまなアイデアの中から、「自己紹介」という主題に合わせて必要なものだけを選んだり、わかりやすい順序に並べかえる作業を行います。本テキストでは「導入 (introduction)」「本文 (body)」「結び (conclusion)」という 3 部構成をアウトラインの基本とします。

○ 導入 (introduction)

「導入」は、導入文 (introductory sentences) と主題文で構成されるのが一般的ですが、慣れるまでは主題文を導入としてパラグラフを書くようにします。

〔例〕 I am a sociable university student who loves sports and music very much.

→Exercise 2で考えたトピックセンテンスを書き入れましょう。

○ 本文 (body)

ここではまず、ブレインストーミングで思い浮かんださまざまなアイデアの中から、主題文で述べた自己紹介の中心となる内容と関連するものだけを選ぶようにします。主題と関わりのないアイデアを入れると読み手にポイントが伝わりにくくなってしまいますからです。次に、それぞれのポイントについて、具体的な例を示したり、理由などを解説する支持文 (supporting sentences) を考えて書くようにします。

〔例〕 Point 1 : a sociable university student についての支持文の例

I have a lot of friends. I am very friendly to everyone.

My friends always enjoy talking with me.

Point 2 : love sports and music very much についての支持文の例

I am a member of the tennis club. Sports make me very happy.

I played the flute in the high school brass band and played in national tournaments.

→本文のポイントごとにアイデアを整理して支持文を考え、書き入れましょう。

() について

A diagram consisting of a main rectangular box on the left containing the text "() について". A vertical line extends from the bottom of this box, and three horizontal lines branch off to the right, each connecting to one of three stacked, empty rectangular boxes.

() について

A diagram consisting of a main rectangular box on the left containing the text "() について". A vertical line extends from the bottom of this box, and three horizontal lines branch off to the right, each connecting to one of three stacked, empty rectangular boxes.

○ 結び (conclusion)

パラグラフの最後となる「結び」では、パラグラフ全体の内容を簡単に要約したり、トピックセンテンスで述べた主題をもう一度繰り返したりします。一般的には、トピックセンテンスの内容を別のことばで言い換える (restate) 方法がよく使われますが、慣れるまではトピックセンテンスをもう一度繰り返すという方法でよいと思います。最終的な目標としては、トピックセンテンスの言い換えに続けて、提案や展望などへ広げられるようになるとよいでしょう。

[例] I have a sociable personality and am very interested in sports and music.

I hope I will be able to enjoy my university life with many good friends.

→自己紹介文の結びとして、もう一度トピックセンテンスを書き入れましょう。

A single, empty rounded rectangular box.

以上で、実際に英語の文章を書き始める前に行う活動 (Pre-writing activity) についての学習は終わりです。次のユニット2では、下書き (Draft) を行うために必要となる一文レベルの英文の書きかたについて学びます。